

日田彦山線 BRTひこぼしライン

2023年夏 開業

「平成29年7月九州北部豪雨」により被災した日田彦山線添田駅～夜明・日田駅間について、JR九州では地域の皆さまのご協力を頂きながら、BRT(バス高速輸送システム)での復旧に向けて準備を進めておりますが、この度、BRTの「コンセプト」「愛称名」「開業時期」「デザインイメージ」を以下の通り決定しました。今後も地域の皆さまに親しまれるBRTを目指し、開業に向けて準備を進めてまいります。

★ コンセプト

「ひと、地域、未来にやさしい」

ご利用のお客さまや地域にお住まいの方にとって、さらに環境にも「やさしい」交通機関であるとともに、緑豊かな沿線の未来を「やさしく」つなげるBRTを目指します。

★ 日田彦山線BRT愛称名

「BRTひこぼしライン」

(正式名称:日田彦山線BRT)

日田彦山線沿線の地域の想いを乗せ、未来に向け駆け抜けていく「日田彦山線の“星”」となるように願いを込めて命名しました。

★ 開業時期

2023年夏(予定)

★ 運行区間

日田彦山線 添田駅～夜明・日田駅(約40km)

※専用道区間は彦山駅～宝珠山駅(約14km)



※主な駅のみ記載しています。同時に開業するBRT駅は改めてお知らせいたします。

九州旅客鉄道株式会社

本社 〒812-8566 福岡市博多区博多駅前3丁目25番21号

★ デザインイメージ

基本デザインは、社内で建築業務を行っている若手社員を中心に構成したチームにて、地域とコミュニケーションを図りながら考案しました。沿線地域の緑豊かなカラーを表す「フォレストグリーン」を基調に、各種デザインを施しています。

(1) ロゴ

ロゴに込めた想いは「ともに輝く」です。

「ひこぼし」が添田町、東峰村、日田市を駆け抜け、照らした道が「ひと・モノ・コト」をつなぐ線・ラインとなり、地域に新たな魅力・輝きを創り出すことをイメージしました。



日田彦山線BRT
ひこぼしライン
HIKOBOSHI LINE

【ロゴマークの意味】

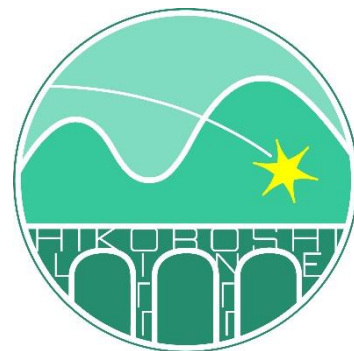
やまなみ…「ひこぼし」の「ひ」の字を模した優しくも力強い

ラインで沿線の“山なみ”を表現

ひこぼし…地域の星となるよう未来に願いを込めて「ひこぼし」

をアクセントに配置

めがね橋…日田彦山線の「めがね橋」をモチーフに「HIKOBOSHI LINE」の文字が模様として浮き出る様にデザイン



(2) BRT駅デザイン

一部のBRT駅に設置する待合ブースには、駅ごとに木材を活用して地域の特色を表現し、独自性に溢れた温かみのある空間を創り出します。その他のBRT駅には、添田町、東峰村、日田市をイメージした、BRTひこぼしラインオリジナルの駅サインを設置し、沿線の一体感を創出します。



待合ブース イメージ



駅サイン イメージ



※デザインはイメージです。変更となる場合がございます。

★ その他

導入車両及び車両デザイン、運転時刻、BRT 駅設置場所などにつきましては、詳細が決まり次第、順次お知らせいたします。

日田彦山線 BRT ひこぼしライン BRT 駅 37 駅の設置計画について

2023年夏開業予定のBRTひこぼしライン(正式名称:日田彦山線BRT)では、「BRT 駅」につきまして、現在、地元自治体様や関係機関様のご協力を頂きながら、添田駅～夜明・日田駅間で鉄道駅(12 駅)に加え、新たに25 駅の BRT 駅を増設し、合計37 駅の BRT 駅設置を計画しています。

専用道を経由し定時性の確保を実現するとともに、学校や病院など生活に密着したエリアに BRT 駅を設けることで、BRT ひこぼしラインが、これまで以上に便利な交通機関になるよう目指してまいります。

今後も、2023年夏開業に向けて、地元自治体様や関係機関様と、連携しながら準備を進めてまいります。

★ BRT 駅 設置計画駅数

日田彦山線 添田駅～夜明・日田駅 37 駅 (鉄道駅から25 駅の増加)

★ 設置計画中の BRT 駅



一般道区間

専用道区間

一般道区間

※駅名を口枠で囲んだ駅は、「平成 29 年 7 月九州北部豪雨」被災前の鉄道駅です(添田駅、夜明駅、光岡駅、日田駅を除く)

※点線「---★---」記載の BRT 駅(経路)は、朝・夕の一部便運行

※現在計画中の内容のため、記載の各内容は変更となる場合があります

★ 今後のお知らせ項目

ダイヤ、所要時間、運賃、車両などについては、決定次第お知らせします。